

庄内地区アンケート分析結果（詳細）

調査概要

アンケート対象者：18歳以上89歳以下 8,125人
(R3.10末時点)

回答数 3,960件（回答率：48.9%）

1

アンケート対象者			
年代	総数	男性	女性
10代 (18,19才)	160	81	79
20代	727	376	351
30代	881	463	418
40代	1099	560	539
50代	1276	647	629
60代前半	754	392	362
60代後半	789	395	394
70代前半	905	460	445
70代後半	601	280	321
80代前半	541	231	310
80代後半	392	138	254
計	8125	4023	4102

アンケート回答					
年代	総数	男性	女性	その他・未回答	回答率
10代 (18,19才)	54	25	28	1	33.8%
20代	195	86	106	3	26.8%
30代	325	150	172	3	36.9%
40代	450	212	235	3	40.9%
50代	612	279	332	1	48.0%
60代前半	427	214	211	2	56.6%
60代後半	494	233	259	2	62.6%
70代前半	575	293	278	4	63.5%
70代後半	344	160	181	3	57.3%
80代前半	302	134	164	4	55.8%
80代後半	172	68	97	7	43.9%
未回答	10	1	—	9	—
計	3960	1855	2063	42	48.9%

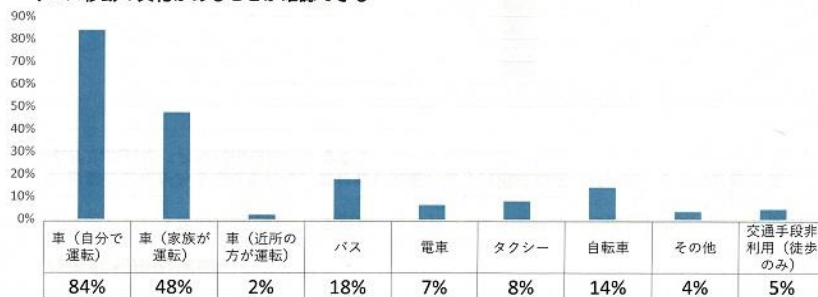
普段使っている外出手段

2

「自分で運転」以外では、「家族が運転」「バス」と回答した人の割合が高い

→助け合い交通によって「家族が運転」と回答した人の運転者（家族）の負担が軽減される可能性がある

→バス移動の文化があることが確認できる



バス非利用の理由

3

「車で十分」という理由の他では、「家近辺にない」「ダイヤが不便」と回答した人の割合が高い

→バス移動の文化がある地域なので、助け合い交通により交通結節点（バス停）までの移動を補うことが出来ればバスの利用増加につながる

